

2021年度 環境経営レポート

(2021年度版)

(2020年11月～2021年10月)

作成日

2021年 12月 15日



技 術
信 頼
挑 戦



株式会社 エドランド工業



エコアクション21

認証番号0001718

環境経営方針

株式会社 エドランド工業

環境経営方針

自然環境を常に意識し、継続的な汚染予防・改善に努め、『地球にやさしい物づくり、物にやさしい人づくり』をスローガンとして、全員参加のもと環境経営システムを継続的に運用し、環境保全・環境負荷低減に努めます。

環境保全への行動指針

1. 次の項目について、環境経営目標・経営計画を定め、継続的な改善と汚染の防止に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
 - ・購入電力、社用車燃料、灯油
 - ②水使用量の削減(水資源の保全)
 - ・地下水及び水道水
 - ③廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)
 - ・可燃ゴミ、産業廃棄物(汚泥、廃油)
 - ④グリーン購入(環境に配慮した物品等の購入)
 - ⑤製品における環境配慮の取組み〔生産及び出荷〕
 - ・化学物質を使用するにあたり数量、排出量を把握する
 - ⑥地域での環境活動への積極的参加
2. 環境関連法規制及び協定を遵守します。
3. 環境への取組を環境経営レポートとして取りまとめ公表します。

本方針は全従業員に周知するとともに、地球にやさしい人づくりを通して従業員とのコミュニケーションを活発に行ない信頼関係を築き地球環境意識の徹底を図っていく。



制定 2006年 9月 18日

改訂 2020年 6月 19日

株式会社 エドランド工業
代表取締役社長 久保 公司

1. 事業所の概要

(1) 事業所名、代表社名及び所在地

事業所	株式会社 エドランド工業
代表者	代表取締役社長 久保 公司
所在地	岐阜県関市下有知 3846-1

(2) 管理責任者指名及び担当者連絡先

管理責任者	製造部 部長	塚原 正和
担当者	本部 営業課長	山田 裕二
連絡先	TEL.	0575-22-0451(代)
	FAX	0575-24-1632
	e-mail	edems@edlund.co.jp

(3) 事業内容及び認証・登録の範囲

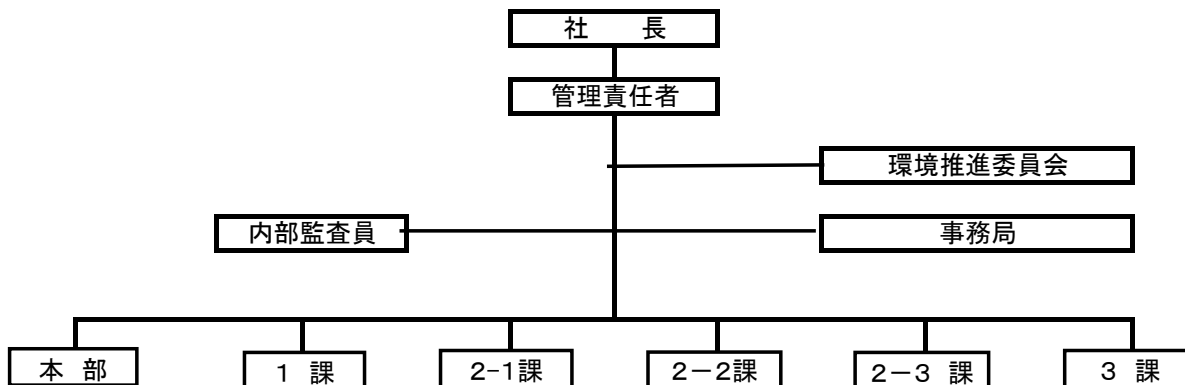
事業内容	当社は”刀匠の里”として全国的に知られております関市北西部に位置し、1919年(大正 8年)に創業した。 主として、刃物及び金属加工品の設計・製造・販売を行っている。
認証・登録の範囲	刃物、金属加工部品の設計・製造・販売

(4) 事業の規模

項目	2018年	2019年	2020年	2021年
売上(千円)	455,800	463,000	385,500	397,100
従業員数	40人	40人	40人	43人
事業所床面積	敷地 2,800坪		建物 980坪	
事業年度	11月～翌年10月			

(5) 環境経営組織図

2021年2月17日現在



※推進委員会メンバー

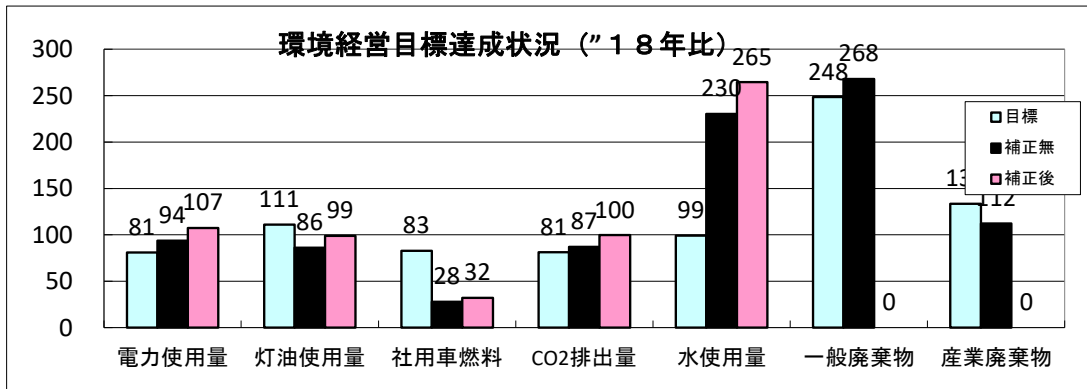
社長、管理責任者、各部門エコ委員、事務局で構成する

2. 環境負荷実績、環境経営目標及び実績

下段は'18年比(基準年度)を示す

中期計画		第3期	第3期	第4期	第4期				第5期		
項 目	単 位	18年	19年	20年	21年			21年	22年		
		実績 基準年度	実績	実績	目標 補正無	実績	評価 補正無	評価(参考) 補正後	目標 補正無	目標 補正無	
二酸化炭素排出削減	電力使用量	MWh	334.3	327.7	293.7	270.8	312.9	×	×	270.8	270.8
		%	100	98	88	81	94		107	81	81
	灯油使用量 (廃油含む)	リットル	720	1,140	760	800	620	○	○	800	800
		%	100	158	106	111	86		99	111	111
	社用車燃料	リットル	3,508	3,168	2,270	2,900	977	○	○	2,900	2,900
		%	100	90	65	82.7	27.9		32.0	82.7	82.7
内訳	ガソリン	リットル	3,273	2,975	2,132	2,700	929	○	○	2,700	2,700
	軽油	リットル	235	193	138	200	48	○	○	200	180
削減	CO2排出量	t-CO2	171.1	165.9	148.8	139.0	148.8	×	×	139.0	139.0
		%	100	97	87	81.2	86.9		100	81.2	81.2
省資源の推進	水使用量	m3	898	946	1,794	890	2,069	×	×	890	880
		%	100	105	200	99	230		265	99	98
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	kg	310	600	830	770	200	○	○	770	770
	可燃ゴミ	%	100	194	268	248	65			248	248
	産業廃棄物	kg	3,000	4,000	1,650	4,000	3,370	○	○	4,000	4,000
	研磨屑	%	100	133	55	133	112			133	133
化学物質使用量			適切管理 管理できた	適切管理 管理できた	適切管理 管理できた	— —	適切管理 管理できた			適切管理	適切管理
グリーン購入	紙類	kg	—	—	—	60	40			60	60
	(調達率)	%	—	—	—	50.0	56	○		50	60
	事務用品	点	—	—	—	30	21		売上比	30	30
	調達率	%	—	—	—	30.0	31	○	87%	30	35

- (注記) 1. 購入電力の調整後排出係数は、環境省「2015年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数」を用いた。
 0.482kg-CO2/kWh(中部電力):各年度のトレンドが判るようこの値で算出した。
 2. 本年度環境目標の達成状況('18年比)のグラフを下図に示す。
 3. 評価記号 ○:達成(目標%以下) △:ほぼ達成(目標%に対し5%未満超過)
 ×:未達成(目標%に対し5%以上超過)
 4. 評価(参考)補正後の定義 18年比(%)=実績値/売上高補正值
 5. 水使用量の第4期の目標は、水道管新設工事後の実績値をもとに設定した。
 6. 第4期の目標率は、18年の実績値を基準とするのでそれをもとに算出した。



3. 環境経営活動の取組計画と活動結果の評価


◎:よくできた

○:できた

△:あまりできなかった

×:まったくできなかった

取組計画		達成状況	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出削減	電力使用量の削減		目標未達成(生産補正無、評価:△)
	①省エネ・省資源ルールの遵守	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ21.4MWh削減出来たが、目標に対し42.1MWh増加し目標を達成できなかった。 ・18年度に比べ生産減、生産補正をかけると107%で目標未達成 ・省エネ・省資源ルールの活動では限界があり、⑦Peak電力の抑制及び⑧主要機器の使用方法の見直しを検討したが実施できず、次年度も電力量のモニタリング調査を行い削減に努めていきたい。
	②冷房温度28℃設定とクールビズ	○	
	③暖房温度20℃設定とウォームビズ	○	
	④不必要照明の消灯	○	
	⑤製造設備・機器の節電	○	
	⑥省エネ機器への切り替え(照明、エアコン他)	○	
	⑦Peak電力の抑制(契約電力14.7kW以下)	△	
	⑧主要機器の電力量モニタリングによる使用方法の見直し	△	
	灯油使用量の削減		
①省エネ・省資源ルールの遵守	×	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、100リットル削減し目標を達成することができた。 ・省エネ・省資源の意識がマンネリ化し欠落していたと思われる。 	
②ストーブの火力をできる限り落とす	○		
③不要ストーブの削減(指定台数以下)	○		
④職場の防寒対策とウォームビズ	×		
⑤扉、壁等の隙間風対策(防寒シート等の設置他)	○		
社用車燃料使用量の削減		目標達成(生産補正無、評価:○)	
①運転マナーの励行 アイドリングストップの励行、急発進・急停車の禁止	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、253リットル削減し目標を達成できた。 ・コロナ禍で外出及び売上が減った影響が大きい 	
②社用車毎の運行状況の確認	○		
③集配方法の見直し(原則1人)	○		
省資源の推進	水使用量の削減		目標未達成(生産補正無、評価:×)
	①節水意識の励行	△	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、1171m³増加し目標を達成できなかった。
	②蛇口の点検、修理	×	
	③洗浄水等の節水	○	
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物の排出削減(可燃ゴミ)		目標達成(生産補正無、評価:○)
	①可燃ゴミ分別収集ルールの遵守	×	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、110kg削減し目標を達成できた。 ・種類毎(紙、ビニール)の排出量を調査し、削減に努めた。 ・段ボール、新聞紙、雑誌のリサイクルは、引取りが無料となり排出量の把握ができなかった。
	②リサイクルの促進(段ボール他資源ゴミ)	○	
	③私用品のゴミの持込み禁止	△	
	④両面、裏面コピーの推進	○	
	⑤シュレッダー紙屑の再利用(包装補助材等)	○	
	⑥段ボール、新聞紙等のリサイクル	○	
産業廃棄物の排出削減(汚泥、廃油、研磨屑)		目標未達成(生産補正無、評価:×)	
①汚泥、廃油の排出量調査	○	<ul style="list-style-type: none"> ・基準年度に比べ、370kg増加し目標を達成できなかった。 ・排出が1トン単位なため排出月のタイミングで増減してしまう。 	
②産廃業者引取量の確認	○		
③研磨屑の再利用(市組合に引取り)調査及び定期的な点検、清掃	○		
④金属屑の分別収集(材料別)	○		

取組計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
化学物質使用量	○	確認済 ・材料メーカーにミルシートの発行依頼 ・副資材 MSDS発行依頼、保管
①製造に必要な材料および加工液、研削液等の副資材の特定化学物質含有調査		
グリーン購入		目標達成 ・担当者調査未実施 今後も購入商品の見直し等を行い、グリーン調達比率を高めていきたい。
①環境ラベル適合製品の調査	—	
②事務用品等の購入実績の調査(前年度分)	○	
③調達リストの作成(紙類、事務用品他)	△	
④購入実績の把握と分析?	△	
社会貢献 (実施状況の写真は右の通り)		
①会社周辺の清掃作業(年3回程度)		
2月実施(参加人員 6名)	○	
4月実施(参加人員 8名)	○	
10月実施(参加人員 8名)	○	
次年度取り組み	設備機器の点検、老朽化箇所の調査を行い、環境負荷を過剰に与えてないかを確認し整備することで環境負荷の低減に努める。	

4. 環境関連法規等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規は、次のとおりです。

適用される法規	適用される事項(施設、物質、事業活動等)	遵守評価
水質汚濁防止法	貯油場、廃油置場、貯水池 油流出事故対応の記録	遵守
廃棄物処理法	一般廃棄物(可燃ゴミ他) 産業廃棄物(汚泥、廃油、不燃ゴミ) マニフェストの交付、保管	遵守
騒音・振動防止法	空気圧縮機、機械プレス 騒音測定結果の保管	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコン、空調機 フロン使用製品の簡易点検表の保管	遵守
顧客要求事項(プラザー工業)	特定化学物質プラザー基準値内保証書 出荷記録	遵守
遵守状況	環境関連法規等の遵守状況を評価した結果、環境関連法規への違反及び訴訟は、過去3年間ありませんでした。	

5. 代表者による全体の評価と見直し

項目	代表者による見直し	
	変更の必要性	■ 有 □ 無
環境経営方針		
環境経営目標・活動計画	変更の必要性	■ 有 □ 無
	(1)環境経営目標(2020年度目標値の見直し及び基準年の変更)基準年2018年度	
	①電力使用量の削減	270MWh(18年比: 81%)以下
	②灯油使用量の削減	740リットル('18年比: 102%)以下
	③社用車燃料使用量の削減	3,000リットル('18年比: 85.5%)以下
	④二酸化炭素排出量の削減	139t-CO2('18年比: 86.2%)以下
	⑤水使用量の削減	890m3('18年比: 100%)以下
	⑥一般廃棄物(可燃ゴミ)の排出削減	770kg('18年比: 248%)以下
	⑦産業廃棄物(研磨屑)の排出削減	4,000kg('18年比: 100%)以下
	⑦グリーン購入(事務用品他)	紙類:50%以上購入 事務用品:30%以上購入
その他指示事項		

5. その他環境経営活動の紹介

5.1 環境意識の浸透

(1) 環境改善の事例発表会(11月に実施)

21年度活動結果について、全員参加のもと、各部門代表者が活動成果、反省点及び22年度活動目標(環境及び品質)を発表、質疑応答により意識向上を図った。



5.2 緊急時の対応テスト実施状況

手順は「緊急事態への対応手順書」による

① 避難訓練(全員対象)

9月実施

地震による火災発生という想定のもと実施
迅速、かつ的確に行動出来た。



② 油流出時の対応訓練(エコ委員及び関係者)

7月実施(参加人員 7名)

焼入れ油を運搬中にドラム缶が転倒し油が流出を想定して実施。
初期対応は良好だが、訓練の意識が迅速・的確に行動できていないところがあった。



③ トラックへの荷積み作業訓練(本部関係者)

10月実施(参加人員 3名)

荷崩れ防止のためのロープ掛けを実技訓練した。
日頃ロープ掛けを行う機械が少なく忘れがちであり
普段練習して忘れないようにすることとした。



5.3 製品、サービスに関する環境経営目標(改善例)

各部門の改善事例

環境経営目標	部門	活動結果の概要	評価
活用しやすい手順書の作成 工程の見直し	作業標準書 小椋班	各課で作業標準書をファイルし指示書に入れ作業者にチェックしてもらい 修正点を洗い出した 写真や挿絵を入れわかりやすくするように工夫した 過去の不良の内容・対策を追記した アンケートを入れ作業標準書の理解度を調べた	○
機械メンテナンス 設備台帳、点検記録の運用、 修理手順書の作成	メンテナンス 石原班	メンテナンスの活動ができない月があった 修理依頼5日以内の目標に対して50%程度しかできなかった 次年度は修理手順書を作りすぐに対応できるようにしていきたい	△
・消耗品や工具を探す時間の短縮 ・段取り時間の短縮 工場内の整理・整頓	5S 朝田班	作成した材料棚を設置し材料をしまった 棚が足りなかったのが新たな棚を作成中 使用頻度の低い測定器を集めて一か所にまとめた 加工で使用するアテを会社別に分けて整頓した 2課東側に日よけのカーテンを取り付けた	○
加工後の寸法確認の徹底	製造1・3課 石原	完成後の寸法チェックはできていたが受け入れ検査が少し不十分だった 加工者が変わらないときの検査体制を確立していく	△
決められたルールの徹底	製造2課 朝田	決められたルールが守られているかをチェックするために チェックシートを作成しルールが守られているかを確認する体制を作った	○
工程ごとの検査の徹底	製造2課 小椋	工程ごとの検査の徹底は今までに比べ確実に行われるようになった 次工程での受け入れ検査の認識が低くあまりされていなかった	△
顧客に不良ゼロ	本課 野口	月に1~2件の社外クレームが出てしまい目標の0件にはできなかった ダブルチェックを確実にし社外クレーム0件を目指していく	×

6. 2021年度環境経営計画

環境目標		目標値	担当	主な活動計画・取組
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	270MWh以下 18年比 81%以下	全部門	(1)省エネ・省資源ルールに従って節電に努める。 ①空調機器の温度管理(設定温度)、 ②不必要照明の消灯、クールビズの推進 ③設備・機器の節電(空運転等の禁止) (2)省エネ機器への切替(照明他) (3)デマンド監視によるPeak電力の抑制 (4)製造設備・機器の適正管理 (主要設備・機器の電力量モニタリングと改善)
	灯油使用量の削減	740リットル以下 18年比 102%以下	全部門	(1)省エネ・省資源ルールに従って節約に努める。 ①火力の調整、不必要なストーブは消す、他 ②ウォームビズの推進 (2)職場の防寒対策 ①隙間風対策(扉、作業場の囲い等)
	社用車燃料使用量の削減 (ガソリン、軽油)	3,000リットル以下 18年比 85.5%以下	本部	(1)運転マナーの励行、燃料節約に努める。 ①アイドリングストップ、 ②急発進、急停車の禁止 (2)効率的な集配業務の実行 ①集配方法の見直し(原則1人で集配)
省資源	水使用量の削減 (地下水、上水)	890m3以下 18年比 100%以下	全部門	(1)省エネ・省資源ルールに従って節水に努める。 ①節水意識の励行 ②蛇口の点検、修理
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物の排出削減 (可燃ゴミ)	770kg以下 18年比 248%以下	全部門	(1)分別収集、可能な限り圧縮し減量化に努める。 (2)リサイクルの推進(ダンボール、新聞紙他)
	産業廃棄物の排出削減 (研磨屑)	4,000kg以下 18年比 100%以下	2課 3課 本部 全部門	(1)廃棄物(汚泥、木屑、廃油)排出量の調査 (2)研磨屑の有効活用(市組合に処分してもらう) (3)保管場所の点検、清掃(2ヶ月毎) (4)金属屑の分別収集と異物投棄の禁止
グリーン購入	紙類 (コピー用紙、トイレットペーパー)	50%購入	本部	(1)グリーン調達リスト(事務用品他)の見直し (2)調達リストによる購入と実績把握
	事務用品 (ファイル他)	30%以上購入		
社会貢献		設定無	管理責任者 事務局	会社周辺の清掃作業(年3回程度)
製品・サービスに関する環境目標		本年度は実績把握と改善	5SG	工場内の設備、機械、治工具等の整理、整頓を行い、探す時間を短縮
			作業標準書G	活用しやすい作業標準書の作成 過去の作業標準書を現状の書式・仕様に変更
			メンテG	機械の修理、メンテナンスの技術継承 生産における治具・設備の作成
持続的な不良ゼロへの取組み		課内の目標及び個人取組み	製造1・3課 石原G	受け入れ・引き渡し時の検査の実施 村田の不良削減 不良率3%
			製造2課 朝田G	工程ごとの寸法・キズの確認の徹底 不良・手直し品を1%以内に抑える
			製造2課 小椋G	各工程、検査の徹底と図面の確認 放電痕不良率3%→1%
			製造2課 室賀G	刃付け不良率4%から3%に削減(M2-079)
			本課 野口G	・顧客に不良ゼロ ・テープ切り検査不良3%⇒1%(L4-010)